

事業シートの見方

事業番号

予算科目
(款項目) - -

令和元年度

事業シート (概要説明書)

予算事業名	★対象事業名です。		事業開始年度	★事業開始年度です。																									
上位施策事業名	★5か年計画の事業については、5か年計画事業名を記載しています。5か年計画事業以外については、個別の上位計画がある場合に個別計画名を記載しています。		担当課名	★対象事業を担当する部署、担当者名を記載しています。																									
根拠法令等	★事業実施の根拠となる法令、条例、規則等を記載しています。		係名																										
事務区分	★自治事務・法定受託事務の区別を記載しています。 自治事務：法定受託事務以外の事務 法定受託事務：本来国、都道府県が果たすべき役割に係る事務であって、適正な処理を確保する必要があるとして法令により市町村が処理する事務		作成責任者																										
実施の背景	★この事業がなぜ必要なのか、その理由、背景を記載しています。																												
目的 (何をどうしたいのか)	★この事業は何のためにやっているのか、その目的(ねらい)を記載しています。																												
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	★この事業が対象にしている人、団体、ものなどを記載しています。全市民対象の場合は、次の値を記載しています。 対象者数：32,789人 対象世帯数：14,567世帯 (平成30年4月1日現在)		対象者数 (全住民に対する割合) ★対象者の全住民に対する割合を記載しています。																									
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者) <input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体： <input type="checkbox"/> 貸付(貸付先：) <input type="checkbox"/> その他()		★事業の実施方法について、当てはまる箇所にチェックを入れています。																									
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費		活動指標																								
	関連事業 (同一目的事業等)	★この事業と関連する事業がある場合に記載しています。																											
		R元年度(予算)	H30年度(決算)	H29年度(決算)	H28年度(決算)																								
コスト	事業費合計	★この事業に要した経費の合計を記載しています。																											
	事業費内訳 H30年度	★当該事業の平成30年度にかかった事業費の内訳を記載しています。																											
	担当正職員	★この事業に従事した正職員数に平均給与等(給料・手当・共済費など含む。)5,602千円を乗じた額を記載しています。臨時職員等は、正職員に準じた勤務をしている臨時職員等に支払った金額を記載しています。																											
	臨時職員等	★この事業に従事した市職員と臨時職員等に支出した金額の合計額を記載しています。																											
人件費	人件費合計	★この事業に従事した市職員と臨時職員等に支出した金額の合計額を記載しています。																											
総事業費	★この事業に要した事業費の合計と人件費の合計を総事業費として記載しています。																												
★従事職員人数について 従事職員人数は、各職員の年間の労働力を、従事している事務事業に割り振ることで算出しています。 なお、担当課職員、臨時職員別でそれぞれ算定しています。 (例) ○○課には、Aさん、Bさん、Cさんの3人の職員がおり、事務事業①と②の2事業を実施しています。3人の担当割合に応じた割合を事務事業ごとに足し合わせることで、各事務事業に従事した職員の延べ人数を計算しています。Aさんは1年間平均して、事務事業①に70%、事務事業②に30%の時間を費やしています。同じくBさんは事務事業①に10%、事務事業②に90%、Cさんは事務事業①のみ担当しています。 事務事業の従事職員人数は、右図のとおり、事務事業①は1.8人、事務事業②は1.2人となります。																													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>70%</td> <td>Aさん</td> <td>30%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務事業①</td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> <td>事務事業②</td> </tr> <tr> <td>0.7+0.1+1.0=1.8</td> <td>←</td> <td>Bさん</td> <td>90%</td> <td>0.3+0.9+0.0=1.2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>←</td> <td>Cさん</td> <td>0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>←</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						70%	Aさん	30%		事務事業①	←		→	事務事業②	0.7+0.1+1.0=1.8	←	Bさん	90%	0.3+0.9+0.0=1.2		←	Cさん	0%			←	100%		
	70%	Aさん	30%																										
事務事業①	←		→	事務事業②																									
0.7+0.1+1.0=1.8	←	Bさん	90%	0.3+0.9+0.0=1.2																									
	←	Cさん	0%																										
	←	100%																											
財源内訳	国県支出金	★国・県からの負担金・補助金(交付金)・委託金を計上しています。																											
	国県支出金の内容	★国・県からの負担金・補助金(交付金)・委託金の名称を記載しています。																											
	地方債	★鴨川市の借金に相当するものです。																											
	その他特財	★受益者負担分(使用料、手数料など)はここに含まれます。																											
	その他特財の内容	★特定財源の名称を記載しています。																											
一般財源	★一般会計(市税・交付税など)、特別会計などを財源とした予算を計上しています。																												
財源合計	★財源内訳の合計です。この財源合計と総事業費は同額になります。																												

事業番号

予算科目
(款項目)

- -

令和元年度

事業シート (概要説明書)

予算事業名		★対象事業名です。			事業開始年度		★事業開始年度です。
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	H30年度	H29年度	H28年度	
				/	/	/	
		★行政サービスをどのくらい行ったか、市側が主体として活動、実施する内容を数値化し、記載しています。		/	/	/	
				/	/	/	
	単位当たりコスト	★活動実績がどのくらいの経費で行われたのか、総事業費を活動実績で除して示しています。					
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	★成果指標を設定した際の考え方や、数値上では表れにくい成果についてのコメントを記載しています。 ★この事業を実施することで、目指している成果 (目指している状態、得ようとしている成果) を記載しています。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	H30年度	H29年度	H28年度	
		★事業の目標値、目的がどの程度達成されたのか、市が活動した結果、対象者にもたらされた効果・成果を数値化したものを記載しています。		/	/	/	
			/	/	/		
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充 ★担当課としての自己評価を記載しています。					
	今後の事業の方向性、課題等	★事業の目的に対し、どのような問題があるのか (あったのか) などについて記載しています。また、活動実績や成果実績などから、今後の具体的な取組の内容、成果とコストに対する今後の考え方や、この事業をどのようにしていきたいかなどを記載しています。					
	比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	★業務内容や経費等が適正かどうか確認するため、他の自治体との比較データなどを記載しています。					
	特記事項	★事業の成り立ち、経緯など当該事業に関し、特に明記すべきことを記載しています。					